

## 子ども・子育て 新システム計画

木村好孝議員

子ども・子育て新システム計画は、政府が来年度からの導入を目指している計画であるが、利用者負担のありかたなど積み残された課題が多い一方で、国と自治体が保育サービスを提供する義務を負う現行の公的保育の解体の内容となっている。

保育料の負担のしくみが変わり、認可外施設を含めて、「多様な事業者の参



子育て支援策のひとつとして、保育サービスの充実は、今後さらに望まれる。

入」による市場原理の導入は、保育サービスの質の低下や、保育労働条件の悪化につながるかと考えられるが、見解を伺う。

高薄町長

子ども・子育て新システム計画については、まだ国から詳細は示されていないが、内容として、公的運営から民間運営への規制緩和、都市部の幼稚園をこども園などの総合施設に転換し待機児童の減少を図ることを目的にしていると思われる。

多様な事業者の参入により、保育サービスの内容に格差が出るのではない

かと考えられ、安定的で継続性のある運営が危惧される面もある。

保育料金について、本町では、国から示されている基準より低く設定したいと考えており、今後、新システムに移行したとしても、保護者の負担増にならないようにしていきたい。

## 除雪対策の 改善を

木村好孝議員

まちづくり第5期総合計画資料編の「まちづくりに対する評価」では、「道路の除雪」が重要度で1位となっている。

これは高齢者や独居世帯の増加もあり、「安心・安全・安らぎ」の町民生活維持のうえで、町政上の重要課題であるといつことを示すものである。

特に、歩道や玄関前の除雪・排雪は大変な作業をこなす必要があるが、この面での改善



町民生活の安全上、除雪・排雪対策は重要な施策。

方向について伺う。

また、在宅福祉サービス事業の一環である「除雪サービス」の対象者基準について、より実態に合った改善が必要ではないかと思つた、考えを伺う。

高薄町長

除雪は、降雪量が10センチから15センチメートルある場合に、通学路を含めた主要幹線道路及び公共施設を中心に実施している。排雪は、降雪から1.5メートル以上をめぐりに行っている。

今後、歩行者の安全確保のため、通学路及び交差

点について、重点的に排雪を実施していく。

また、町と町内会等の地域で協力し、生活道路の除雪・排雪を行うなどの体制も検討していきたい。

除雪サービス事業は、ひとり暮らしの高齢者などを対象としている。現状の対象基準では、町内に子どもなど一親等が居住している場合には利用対象外としているが、その家族も病弱等で除雪が困難なときは、サービスを利用できるように緩和している。

## しみず温泉 フロイデの 営業と 今後の対応は

山岸政彦議員

フロイデの営業について、平成23年12月より営業を再開したいという内容が新聞報道されていたが、町としてどこまで把握していたのか。

また、今後どのような対応していくのか伺う。

高薄町長

フロイデの温泉棟の営業再開について、運営会社から町には一切連絡がなく遺憾に思っている。

これまでも数回にわたって、運営会社に対し、文書にて照会していたが、回答が来っていない状況である。

今後も、弁護士と相談しながら対応していく。

## 本町の 観光振興策は

山岸政彦議員

平成23年には「十勝清水四景+1」が選定され、観光案内のパネルの設置もされている。

高速道路も道央と結ばれ、平成24年には十勝千年の森で「北海道ガーデンシヨウ」も開催されるなど、来町者の増加が期待される。今後、どのような整備やPRをしていく考えなのか。